競技上の注意

１．競技は（公財）日本ソフトテニス連盟発行の、ソフトテニスハンドブック記載の競技規則で行い、マッチは全て７ゲ

ームとする。

２．使用球は、大会要項に記載のとおりとする。

３．試合前の練習時間は、１分以内とするが、進行状況等の都合で省略する場合がある。

４．コート割り及び進行については、原則別紙の進行予定表の通りとするが、進行の都合等により変更する場合があるので注意願います。

５．審判については以下を原則とする。

80歳以上男女は全て本部が行う。

◇第一日

第一試合の審判は、指定されたペアが審判を行う

リーグ戦の場合

第二試合以降は、試合の終了したペアから１名ずつを選出し審判を行う

トーナメントの場合

第二試合以降は、敗者ペアが審判を行う

◇第二日

・第一試合の審判は、指定されたペアが審判を行う

・第二試合以降は、敗者ペアが審判を行う

・決勝戦は本部が審判を行う

なお、審判にあたる際は、ワッペンを左胸に着用しイエローカードを携行する。

６．ベンチは、プログラム番号の小さいペアを審判台から見て左側とする。

７．次のマッチの選手は、前のマッチが開始されたら速やかに試合コート付近で待機すること。

原則として選手の呼び出しは行わない。（１５分を過ぎた場合は失格とみなす）

８．ゼッケンは規定の物を背部に着用し、４隅を必ず止めることとする。

９．ユニフォームは、「ユニフォーム等の着用基準」（別表5）を遵守した製品を着用すること。

但し、この大会に限り次に記載の全てを認める。

・Ｔシャツを除くゲームシャツ、セーター、長ズボン

・アンダーウェア上下〔長袖及びロングスパッツを含む〕

・手袋及びアームカバー

顔全体が隠れるフェイスマスク等上記以外を着用する場合は、事前に大会本部へ申し出ること。

１０．選手の健康面を考慮し、

・チェンジサービス時（２・４ゲーム終了時及びファイナルゲーム中のチェンジサイズを含む）の給水を認める。

その際、選手は給水用の容器等を予め審判台の下に置いておき、審判台付近において短時間で給水をとる。　なお、給水中の打合せは認めない。

・ヒートルールを適応する場合は、本部から連絡する。

１１．タイムについて

競技規則「第39条　(1)以外の理由でテニスコートを外れる場合は、必ず正審若しくはコート主任の許可を得ること。（例えば、急なトイレ、ガットが切れたためのラケットの交換等）

１２．再判定について

再判定は、双方のペアから何れか１名を審判台の前に集めて、正審から伝える事とする。